

## 国の動向等について

### 1 厚生労働副大臣の神戸モデル視察

令和元年5月20日、厚生労働省の大口副大臣が、神戸モデルの視察で来神。市長との意見交換、認知症疾患医療センター（西市民病院）の視察を行った。

※副大臣の発言「神戸モデルが全国でも広がる形で進めばいい。（視察を）今後の認知症施策の参考にしたい。」

### 2 認知症施策推進大綱

厚生労働省は、令和元年6月18日に「認知症施策推進総合戦略（新オレンジプラン）」の後継となる「認知症施策推進大綱」を策定。

認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って日常生活を過ごせる社会を目指し、認知症の人や家族の視点を重視しながら、「共生」と「予防」(※)を車の両輪として施策を推進。

(※)「予防」とは、「認知症にならない」という意味ではなく、「認知症になるのを遅らせる」「認知症になっても進行を緩やかにする」という意味。

この大綱の中で、「認知症に関する様々な民間保険の推進」の項目において、「いくつかの自治体において、早期診断の促進や行方不明時の捜索等と併せて、認知症の人の事故を補償する民間保険への加入を支援する取組が始まっている。これらの取組みについて事例を収集し、政策効果の分析を行う。」との記述。

### 3 認知症基本法案

認知症の予防等を推進しながら、認知症の人が尊厳を保持しつつ社会の一員として尊重される社会（＝共生社会）の実現を図ることを目的とした、認知症基本法案が、国会に上程されており、審議中。

### 4 国への要望

認知症施策に関し、本市から国に対して、下記のとおり要望を行っている。

- ・ 早期診断のための認知機能検診にかかる財政支援
- ・ 認知症の人が起こした事故に対する救済制度の創設及び認知症予防施策の充実

### 5 他都市視察・海外発信

神戸モデルに関する他都市から本市への視察（19都市）、WHO神戸センター等を通じた海外への発信（5回）